



2002  
「アジア太平洋障害者の十年」  
最終年

# “KANAGAWA” 福祉タイムズ

2002 **9** No.610

発行日 2002年（平成14年）9月15日  
毎月1回15日発行  
発行所 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2  
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会  
TEL045-311-1423 FAX045-312-6302  
http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/  
編集発行人 清水勝夫  
定価 80円（郵送料込）  
印刷所 株式会社 神奈川機関紙印刷所  
昭和27年1月30日 第三種郵便物認可



「心打つ射を」ゆったりした動作から矢が放たれた。前方を見据える凛とした姿が大きく見える。見事な動と静。振り返ると矢は中心を捕えていた。「ねんりんピック」ふくしま大会本県選手団の一人である飯田ナリ子さんは、女学校在学中に弓道と出会った。40年後の平成2年、転居した伊勢原市で弓道と再会する。当てることもひとつの楽しみと微笑みながらも、初心者には作法や体配の大切さも教えていく。「年を重ねたら人を引きつける射がなおさら大切。“枯れた射”が人の心を打つ」と語る。(写真・文 菊地信夫)

## あんどる

七月としては珍しく、台風が二度も上陸した。「南の高気圧の勢力が弱いから」と言っていたが、その後は三十度を越える日も多く、今年の夏はまさに酷暑でした。

横浜市役所では「夏季における省エネルギーの強化」の一環で、夏の時期約二カ月をノーネクタイ・軽装の励行をしました。市社協でも同様の取り組みをしましたが、「スムーズに受け入れられた」職員と「暑いとは言ってもネクタイははずせない」職員とがいて、事務所を訪れた方々の中にも違和感を持たれた方もいたようです。かく言う私は後者の一人。しかし、この様な取り組みは過去にもあったような気がします。この数年間に省エネの必要がなくなったわけでもないと思うが、組織では人事異動が定期的にあります。新たに就任した人は、自分の力を発揮しようと頑張る仕事に取り組みます。それは従前の踏襲型であったり、打破型であったりします。どちらが良いということではなく、時代の流れを見極め、必要なことは「勇気を持って改革し、継続する」ことが大切ではないでしょうか。

来夏、市社協職員がノーネクタイ・軽装をしているか？ 乞うご期待！

横浜市社協地域活動部長 小嶋正夫

### 目次

明るく活力ある長寿社会の実現を……………	2・3
あかいはね共同募金、10月1日よりスタート！……………	4
支援費制度を上手に活用して生活の達人になろう……………	4
第41回社会福祉研究発表大会発表者募集……………	5
チルドレンファーストを目指す社会へ……………	6
連載・企業の姿勢から学ぶもの(6)……………	8・9